

♪ Attacca Quartet

現在米国でも注目を浴びている若手弦楽四重奏団によるコンサート。弦楽四重奏特有の迫力のある生き生きとした演奏に魅了された。「呼吸やアイコンタクトが勉強になった」「体の動きや顔の表情の豊かさに驚いた」等の声が挙がった。また講座終了後、弦楽器専攻の生徒はアンサンブルのレクチャーを受ける機会を持つことができた。



♪ 横山幸雄「ピアノリサイタル」



日本を代表するピアニストの横山幸雄氏のリサイタル。横山氏はショパンの作品に対して特に顕著な芸術活動を行ったことでも知られており、今回のプログラムもショパンの楽曲が中心となった。その場の空気をも変化させる、美しい演奏に会場全体が酔いしれた。生徒たちは各々に、甘いメロディーや緊張感のある和音、美しい和音の弾き分けなど、ショパンの楽曲を演奏する際のヒントを得た。

♪ シェレンベルガー「オーボエ演奏とレッスン」



ホール中に響き渡る美しいオーボエの音色に、生徒からは「ずっと聴いていたい」「吹いている」というより「歌っている」「お話ししている」という感じがした」などの声が挙がった。レガートにしすぎず細かく切るなど、バロック特有の演奏法については、管楽器を専攻する生徒はもちろんのこと、他専攻の生徒にとっても学ぶところが多くあった。ピアニストは本校講師の木田志津加氏を迎えた。

♪ Perc Perc

本校卒業生によるマリンバデュオ Perc Perc が、クラシック曲から、童謡唱歌、オリジナルまで多岐にわたるレパートリーの演奏を行った。特にマリンバの魅力を生かしたオリジナル曲には「マリンバの音色の幅に驚いた」との感想が多くあり、生徒たちはマリンバの可能性を再発見することができた。



♪ シーグフリッドソン「ピアノ演奏とレッスン」

ミニコンサートでは、ショパンのエチュード（L.ゴドフスキー編曲）をなんと左手のみで見事に披露された。生徒からは、「目をつむって聴いたら、左手だけで弾いているとは思えない」「和音の重みと動くところの軽やかさの対比が素晴らしかった」など、技術力はもちろん、その音楽性の高さを賞賛する声が多く挙がった。

